

星のたより

2025(令和7)年
7月号
Vol. 370

イベント予告「七夕・星まつり」

～今年の星まつりは
7月6日～

夏の恒例イベント「星まつり」。今年は「七夕・星まつり」として7月6日(日)におこないます。七夕飾りや竹灯ろうづくりにチャレンジしたり、103cm大型望遠鏡や園地で七夕の星の観察をしましょう。

日時：7月6日(日)13:30～21:30

主なメニュー：103cm大型望遠鏡で観望会、パントマイム公演、
工作・体験コーナー、お食事コーナー、など
詳しい内容は、公式HPをご覧ください。



さじアストロパークの
ホームページはこちら

「コレクションシリーズ」スタート

～第1弾は「天文現象」～

2024年(令和6年)7月、さじアストロパークは登録博物館となりました。1994年7月のオープン以来30年以上にわたり、天体写真などの資料を撮りだめてきました。これらの資料を展示資料としてまとめ、皆さんに見ていただきます。第1弾は「天文現象」。定番の日食や月食はもちろん、22世紀まで見られない珍しい天文現象など、盛りだくさんでご紹介します。あわせて、館内のモニターでは記録した天文現象の中から厳選した映像を上映します。右の画像は2012年6月6日に見られた「金星の太陽面通過」の様子で、21世紀最後の現象でした。次回は2117年12月10日から11日にかけて起こります。そのころはどんな世界になっているでしょうか。また、今ではデジタルカメラが当たり前ですが、オープン当時に活躍したフィルムカメラや撮影した生スライドなども展示します。

展示期間：6月18日(水)～11月30日(日)

入館料(高校生以上300円、中学生以下無料)をご覧ください。

「星のたより」はこちらから



イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。
公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆さじアストロパークコレクションシリーズ①「天文現象」6月18日(水)～11月30日(日)

1994年7月オープン以降、これまでに起こった様々な天文現象の写真などを展示

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク

第2部 テーマ番組「キッツと仲間たちのスーパームーンアドベンチャー」

6月18日(水)～9月15日(月・祝)

☆夜間観望会☆ ☆7月のテーマとおすすめ情報

17日(木)までは、プラネタリウムと観望会の2本立てです。

プラネタリウム番組「プラネタリウムでチコちゃんに叱られる2」

天体観望「麦星アルクトゥルス」

星の集まりM13

スマホで天の川を撮ろう

観望会で満天の星が楽しめる

観望会で月がよく見える

4(金)、5(土)、

11(金)、12(土)

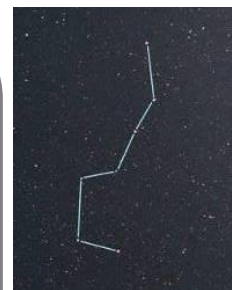
18(金)～20(日)、

25(金)、26(土)

16(水)～27(日)

1(火)～9(水)

☆7月の休館日 7(月)、14(月)、15(火)、22(火)、28(月)



※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

プラネタリウム & 天体観察会

～ 「星取県」で 昼も夜も星空満喫 ～

1. プラネタリウム ☆平日は3回、土日祝は4回投影しています
前半は専門職員による当日夜の星空生解説、後半はテーマ番組投影の2部構成です。テーマ番組は定期的に変更しています。

★前半の当日夜の星空解説

星座の探し方を中心に当日夜の星空を専門職員が語り紹介します。

★後半のテーマ番組

夏のテーマ番組【キッツと仲間たちのスーパームーンアドベンチャー】

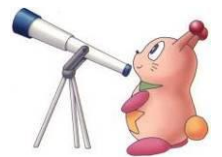
※猫たちと月に探検に出よう！ 投影中～9月15日（月・祝）まで



© KWON O CHUL & Cho Hea Seung

2. 103cm大型望遠鏡での夜間観望会（天体観察会）

月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。金曜日と土曜日の事前予約は不要です。その他の曜日については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約ください。



7月の星座と観察天体より

☆ さそり座

さそり座は、もっとも古い星座の一つです。冬の星座オリオン座のように探しやすい星座ですが、見やすい期間が2か月ほどと短いのが難点です。南の空低く、さらに梅雨時期も重なるため、晴れたら「さそり座」を真っ先に探してみましょう。目印は1等星アンタレスです。「火星に敵対する」という意味のアンチ・アレスから付けられた名前です。火星もアンタレスも赤い色をしているため、さそり座近くに火星がやってきたときは、その赤さを競い合っているようです。

さそり座で有名な神話は、らんぼうもののオリオンを刺し殺した毒サソリでしょう。オリオンはサソリを恐れて、さそり座が空にある時は、姿を隠しているといわれています。たしかに冬のオリオン座と夏のさそり座は一緒には見ることはできません。



☆ 麦星・アルクトゥルス

春の星座うしかい座の1等星です。恒星の明るさランキングでは、シリウス、カノープスに次いで第3位と明るく、夏が近づく麦の刈り入れ時期、日が暮れて薄暗くなってきた空高くで一番星として見られることから「麦星」と呼ばれます。アルクトゥルスは、固有運動の速い星として有名で、800年ほどで月の直径分ほど星空の中を移動します。表面温度が4000度くらいの赤色巨星です。



距離 37光年 明るさ 0.0等

あま がわ さつえい 天の川の撮影にチャレンジ

あま がわ み
天の川が見えるようになりました。あま がわ さつえい ちょうせん
天の川の撮影に挑戦してみましょう。

じゅんび 準備するもの



デジタルカメラ（マニュアルモード設定ができるもの）、三脚、筆記用具を準備します。また、レンズヒーターやヘッドランプがあると便利です。レンズヒーターは、レンズの結露を防ぎます。ヘッドランプは、記録をとるときに便利です。（ヘッドランプは、赤いセロファンを貼って目に刺激を与えないようにすると良いでしょう）

カメラの設置しよう

撮影のときのモードは B(バルブ)か M(マニュアル)です。これは、カメラによって違います。ISO感度は3200～6400に設定します。露出時間は、20～30秒にします。（ISO感度が高ければ、露出時間は20秒くらいでも大丈夫です）



さつえい 撮影してみよう

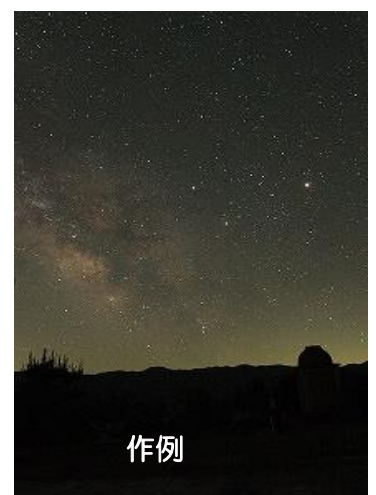


広角レンズを使って撮影してみましょう。カメラを三脚に固定します。まずは、ピントを合わせます。カメラを明るい星に向けます。ライブビュー（モニター表示）機能（モニター表示を5倍や10倍に拡大する機能がありますので星を拡大します）にし、星が小さな点になるようにピントを調整します。ピントがあったら、つぎは構図を決めます。下に作例を載せました。縦画像や横画像、風景を入れてみたりと、色々試してみてください。露出時間とISO感度はすでに設定していますので、あとはシャッターを押すだけです。撮影が終わったら撮った画像を確認してください。

スマホでもチャレンジ

たより4月号でも書きましたが、スマートフォンでも撮影できます。スマホ用の三脚に固定し、構図を決めて撮影してみましょう。アンドロイドのスマホでも機種によっては天体撮影モードのある機種があります。持っているスマホの機能を確かめて、撮影に挑戦してみてください。

（※さじアストロパークでは、スマホ用三脚を貸出しています）



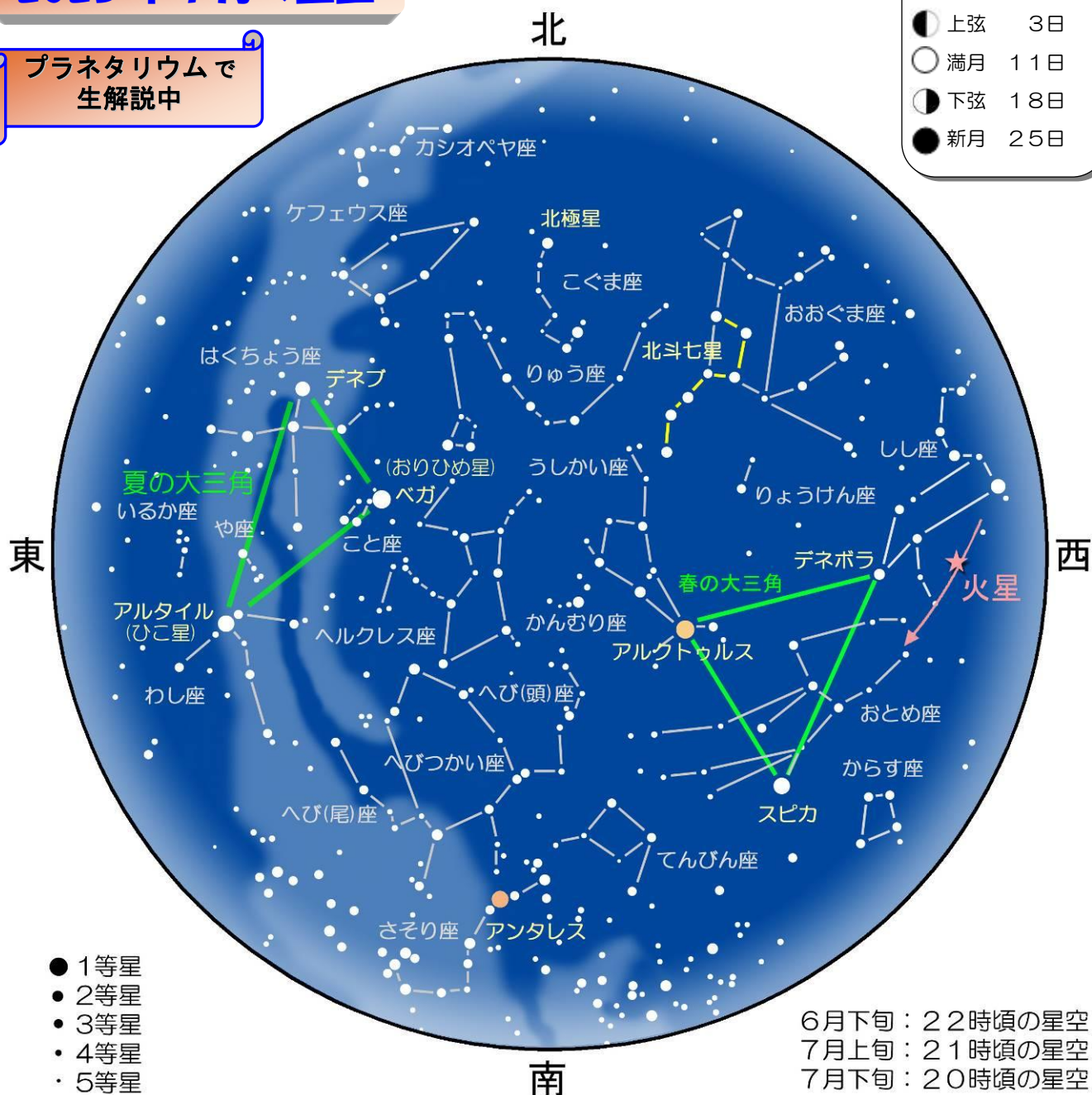
作例

2025年7月の星空

プラネタリウムで
生解説中

7月の月の暦

- 上弦 3日
- 満月 11日
- ◐ 下弦 18日
- 新月 25日



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星

6月下旬：22時頃の星空
7月上旬：21時頃の星空
7月下旬：20時頃の星空

☆7月になり暑い日が増えますが、夜風にあたっていると意外と肌寒くなることがあります。薄手の羽織れるものと、虫よけ対策を用意して星空観察に出かけましょう！

☆春の星座たちがだんだん西の空へかたむき、主役は夏の星座に交代しはじめています。西の空には「春の大三角」、西の空には「夏の大三角」が輝いていますよ。比べてみると春の大三角は正三角形に近く、夏の大三角は三角定規のような形をしています。ぜひ形の違いや星の色を比べてみましょう。7月7日は七夕ですね。夏の大三角の3つの星のうち、「ベガ」が「おりひめ星」、「アルタイル」が「ひこ星」です。二つの星の間をへだてる大きな「天の川」が南の「さそり座」のしっぽのあたりへ向かって広がっています。よく晴れた日には街明かりを避けて空が暗い所へ出かけてみましょう。暗さに目が慣れると夏の天の川の姿がぼうっと浮かび上がってきます。火星は西の空へと低くなりそろそろ見納めです。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観察会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1
TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103
e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp